

情報公開文書

適応外使用する医薬品等の名称	インドメタシン坐剤 25 mg
本医療の対象となる方	切迫早産を呈した患者様
実施内容	坐薬投与
対象診療科	産婦人科
目的・意義	インドメタシンは、アラキドン酸カスケードにおけるシクロオキシゲナーゼ（COX）を阻害することにより、プロスタグランジン類の生成を抑制することによって子宮筋収縮抑制作用を示します。その妊娠延長効果は、 β 刺激薬（リトドリン塩酸塩等）やカルシウム拮抗薬（ニフェジピン等）と同等であるとする報告があり、多くの国・地域で子宮収縮抑制薬として推奨されています。また、「早産のすべて 基礎から臨床, DOHaD まで」（編集：日本早産学会）に収載されている治療法です。ただし、副作用として胎児動脈管早期閉鎖等があります。当院では、原則妊娠 24 週未満の切迫流早産例で、保険適用のあるリトドリン塩酸塩（特に妊娠 16 週未満は保険適用外）での治療が困難な場合に限り、使用することがあります。
想定される不利益と対策	副作用としては、母体では消化性潰瘍や消化管穿孔等があり、胎児では胎児動脈管早期閉鎖や乏尿、羊水過少等があります。したがって、内服中は定期的に胎児心拍陣痛計によるノンストレステストや超音波断層法を用いた胎児血流測定や羊水量測定等を行い、自覚症状や異常所見の出現に注意します。
本医療の承認について	本医療の実施については院内規定に基づいて審査を受けて、承認されています。
本医療についてご了承いただけない場合	本医療について、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は、下記連絡先までお申し出ください。
連絡先	本医療に関するご質問は下記へお問い合わせください。 〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学病院 医療安全管理部 電話番号 092-801-1011（代表）